

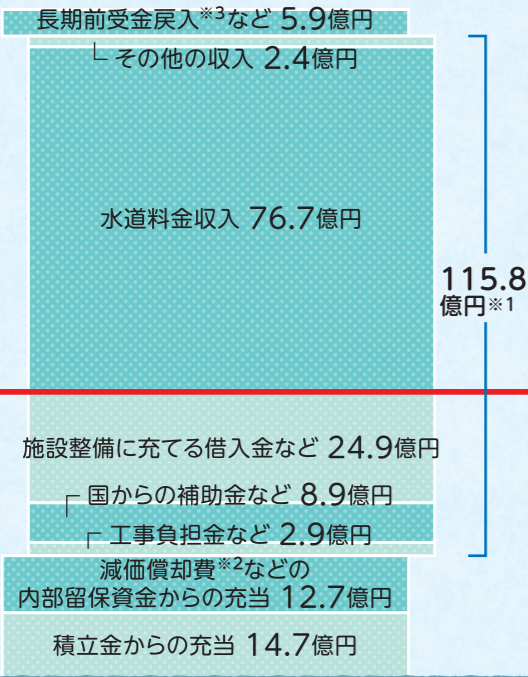
# 高松の水道 平成29年度 決算報告

平成29年度(平成29年4月1日～平成30年3月31日)における高松市水道事業会計の決算状況をご報告します。

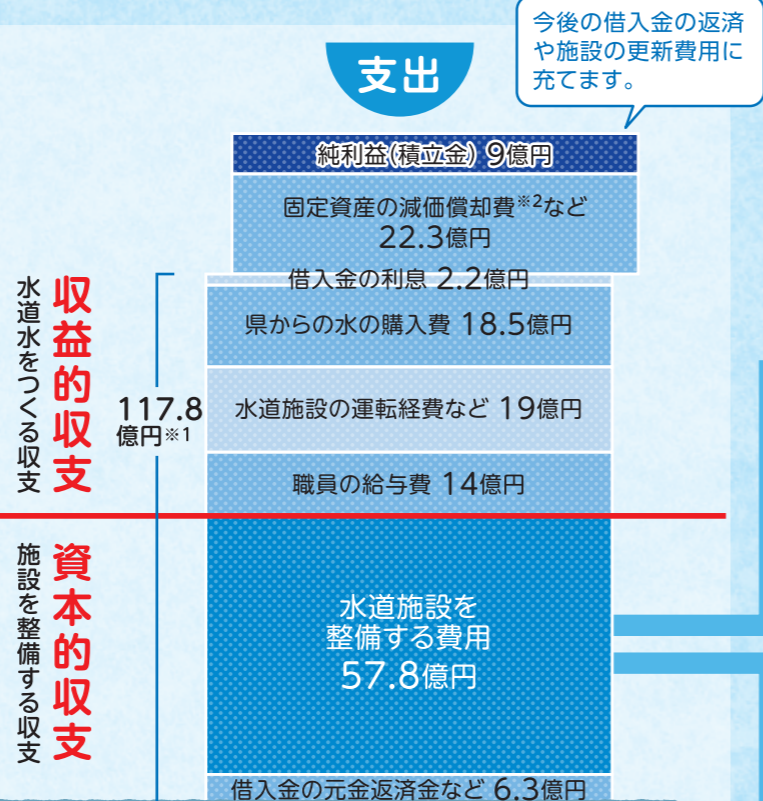
まず収入面では、給水人口が平成26年度をピークに減少傾向にあることなどから、水道料金収入が減少しました。一方支出面では、鉛製給水管の取替促進による助成金交付額の増加などがあり、結果として、純利益は前年度から減少しました。



## 収入

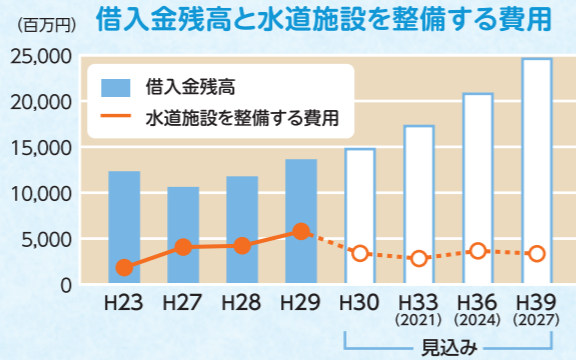
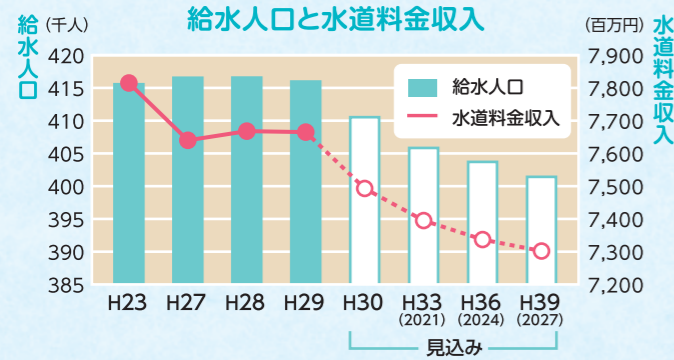


## 支出



収益的収支  
水道水をつくる収支

資本的収支  
施設を整備する収支



高松市においても今後、人口の減少(=給水人口の減少)が続くと見込まれており、これに伴い、水道料金収入も減少し続ける見込みです。平成29年度と39(2027)年度を比較すると、約3.6億円の減収になる見込みです。

高松事務所が管理する浄水場や水道管は、高度経済成長期(昭和40年代後半～50年代前半)に整備されたものが多く、今後、一斉に更新時期を迎えます。また、近い将来の発生が確実視されている南海トラフ地震に備えた、浄水場や基幹管路の耐震化も急務となっています。更新や耐震化には多額の費用を要しますが、その一部を企業債(国などからの借金)で賄うため、借入金残高は増加する見込みです。

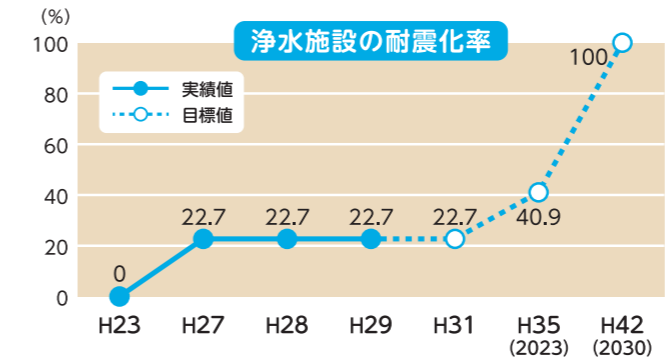
※1 実際に現金の出入がある項目の合計額  
 ※2 固定資産の取得に要した金額を、使用期間に応じて費用配分し、計上すること。  
 ※3 固定資産の取得に伴い交付された補助金などを、減価償却に応じて順次収益化すること。(現金収入は伴わない。)

## 主な施設整備

### 浄水場の耐震化

浅野浄水場耐震化工事  
平成29年度決算額▶6.9億円

高松事務所では5つの浄水場を管理しています。このうち、最も規模が大きい浅野浄水場(香川町)の耐震化を優先的に進めており、平成27年度には急速系浄水処理施設の耐震化が、また、29年度には緩速系配水池の耐震化が完了しました。



耐震化が完了した浅野浄水場 緩速系配水池の内部

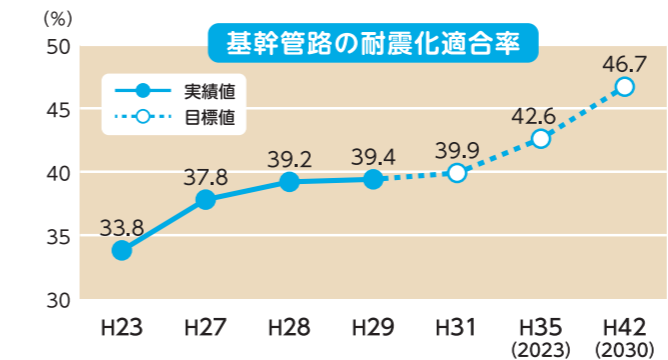
高松事務所が管理する浄水施設の耐震化率は、平成29年度末時点で22.7%(平成28年度末の全国平均:27.9%)となっており、今後も浅野浄水場、御殿浄水場など浄水施設の耐震化を進め、平成42(2030)年度までに耐震化率を100%にすることを目指しています。

### 水道管の耐震化

老朽管布設替え(耐震化)工事  
平成29年度決算額▶13.3億円

高松事務所では約2,300kmの水道管を管理しています。このうち、導水管や送水管、口径400mm以上の配水管を基幹管路と位置付け、優先的に耐震化を進めており、平成29年度には浅野浄水場(香川町)から市内中心部に延びる基幹管路などで、老朽化した水道管から耐震性のある水道管への取替を13,233m行いました。

高松事務所が管理する基幹管路の耐震化適合率は、平成29年度末時点で39.4%(平成28年度末の全国平均:38.7%)となっており、今後も浄水場から香川県立中央病院や高松市立みんなの病院までをつなぐ基幹管路を中心に、耐震化工事を進めていきます。



※地図上には、主要な基幹管路のみを掲載しています。

平成42(2030)年度に、基幹管路の耐震化適合率を46.7%にすることを目指しています。

